

令和2年度

学校保健統計調査の結果確報  
(山梨県の概要)

令和3年7月28日

山梨県 県民生活部 統計調査課

# 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	
1	発育状態	
(1)	身長及び体重の県平均値	3
(2)	親の世代（30年前）との比較	5
(3)	身長及び体重の年齢間比較	6
(4)	県平均値と全国平均値との比較	9
2	健康状態	
(1)	疾病・異常の被患率別状況	11
(2)	主な疾病・異常の推移	12
3	肥満傾向児及び痩身傾向児の割合	17

# I 調査の概要

1 実施主体 文部科学省

2 根拠法令 統計法(第2条第4項に規定する基幹統計)

3 調査目的

学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすること

4 調査対象

幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校に在籍する、満5歳から17歳(4月1日現在)までの幼児、児童及び生徒(以下「児童等」という。)

発育状態 (対象:調査実施校の児童等のうち一定の条件により抽出された一部の児童等)

学校種別	調査実施校数(A)	学校総数(B)	調査対象者数(C)	幼児(5歳児)・児童・生徒総数(D)	抽出率	
					調査実施校 A/B	調査対象者 C/D
	校	校	人	人	%	%
幼稚園(5歳児)	28	105	880	2,761	26.7	31.9
小学校	57	177	5,404	39,153	32.2	13.8
中学校	37	93	4,396	21,202	39.8	20.7
高等学校	24	43	2,124	23,384	55.8	9.1
計	146	418	12,804	86,500	34.9	14.8

健康状態 (対象:調査実施校の在学者全員)

学校種別	調査実施校数(A)	学校総数(B)	調査対象者数(C)	幼児(5歳児)・児童・生徒総数(D)	抽出率	
					調査実施校 A/B	調査対象者 C/D
	校	校	人	人	%	%
幼稚園(5歳児)	28	105	959	2,761	26.7	34.7
小学校	57	177	20,544	39,153	32.2	52.5
中学校	37	93	13,371	21,202	39.8	63.1
高等学校	24	43	16,111	23,384	55.8	68.9
計	146	418	50,985	86,500	34.9	58.9

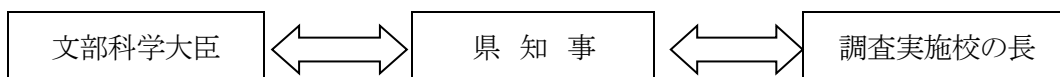
※幼稚園には、幼保連携型認定こども園を含む(以下同じ)。

## 5 調査方法等

(1) 令和2年4月から令和3年3月の間に実施された学校保健安全法による健康診断の結果に基づき、次の区分により調査を行った。

- ① 児童等の発育状態(身長及び体重)
- ② 児童等の健康状態(栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、裸眼視力、眼の疾病・異常、難聴、耳鼻咽喉疾患、皮膚疾患、結核に関する検診、結核、心電図異常、心臓、蛋白検出、尿糖検出、その他の疾病・異常、歯・口腔、永久歯のう歯等数)

(2) 調査系統は次のとおりである。



## 6 利用上の注意

- (1) 年齢は令和2年4月1日現在の満年齢である。
- (2) この報告書は、令和2年度に実施された学校保健統計調査の山梨県分についてまとめた確報である。
- (3) 健康状態の調査の調査項目の一部について、調査対象年齢が限定されているものがある。各項目の調査対象年齢は次表の○印のとおりである。

区 分	幼稚園	小学校						中学校			高等学校		
	5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
聴 力 検 査	—	○	○	○	—	○	—	○	—	○	○	—	○
結核に関する検診	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
結 核 検 査	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
心 電 図 検 査	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—
尿 糖 検 査	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永久歯のう歯等数	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
上記以外の検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について、当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても調査期間を年度末まで延長することとした。

このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、過去の数値と単純比較することはできない。

(文部科学省)

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 発育状態

#### (1) 身長及び体重の県平均値

令和2年度における幼児、児童及び生徒の年齢別身長及び体重の県平均値は表1のとおりである。

男女を比較すると、身長では10歳・11歳、体重では5歳において女子が男子を上回っている。(表1)

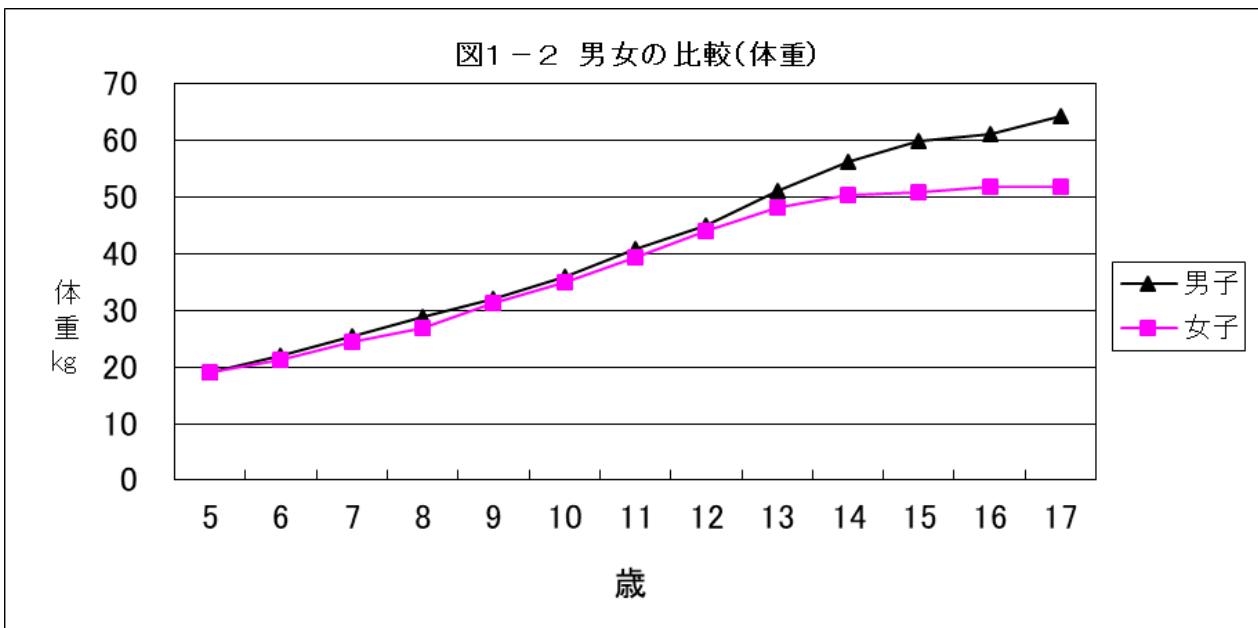
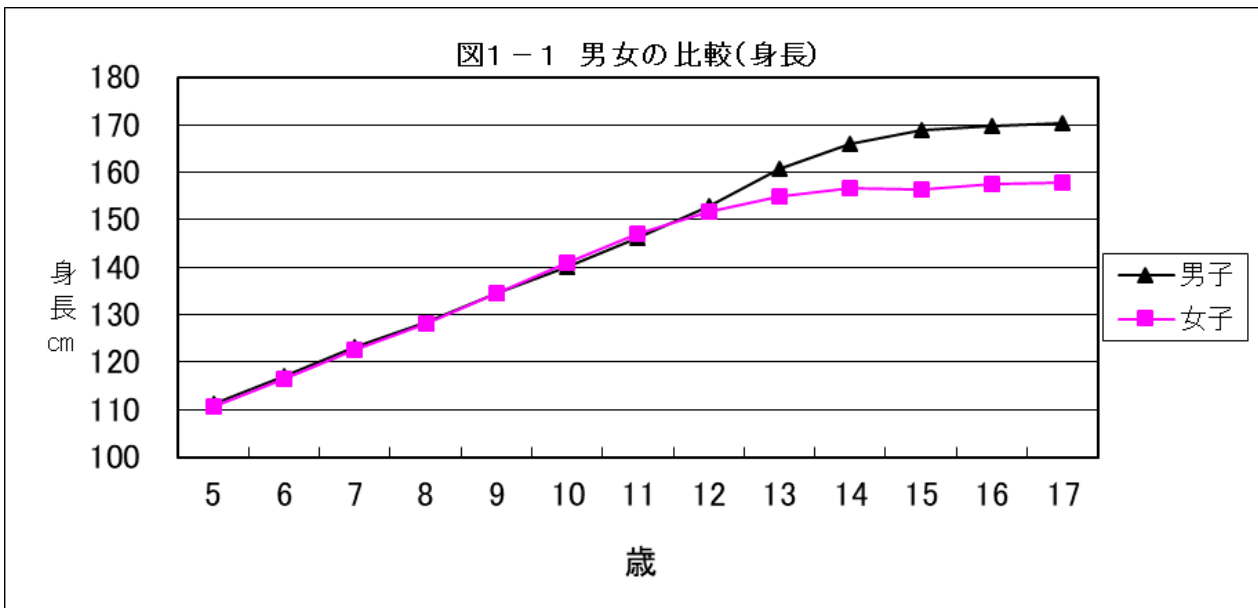
身長及び体重のいずれも男女差が最も大きくなるのは17歳となっている。(図1)

表1 年齢別 身長及び体重の県平均値及び男女差

区分	身長 (cm)			体重 (kg)		
	男子	女子	差	男子	女子	差
幼稚園						
5歳	111.1	110.8	0.3	19.0	19.1	0.1
小学校						
6歳	117.2	116.4	0.8	21.9	21.2	0.7
7歳	123.3	122.6	0.7	25.4	24.4	1.0
8歳	128.4	128.0	0.4	28.9	27.0	1.9
9歳	134.6	134.4	0.2	32.0	31.2	0.8
10歳	139.9	141.0	1.1	35.9	35.0	0.9
11歳	146.1	146.9	0.8	40.8	39.5	1.3
中学校						
12歳	152.8	151.7	1.1	45.0	44.1	0.9
13歳	160.6	154.8	5.8	51.2	48.2	3.0
14歳	165.8	156.7	9.1	56.2	50.5	5.7
高等学校						
15歳	168.7	156.4	12.3	59.9	50.9	9.0
16歳	169.6	157.4	12.2	61.2	51.8	9.4
17歳	170.2	157.7	12.5	64.4	51.9	12.5

(注) 着色部分は、女子が男子を上回った差を示す。

図1 男女の比較



## (2) 親の世代 (30 年前) との比較

令和2年度と30年前(平成2年度)の数値を年齢別に比較すると表2のとおりである。

- ・30年前と比べ下回ったのは、男子では17歳の身長、5歳の体重、女子では12歳・15歳～17歳の身長、15歳～17歳の体重となっている。
- ・30年前と比較し、最も大きく上回ったのは、男子では11歳・13歳の身長1.8cm、11歳の体重2.6kg、女子では10歳の身長1.7cm、9歳の体重1.6kgとなっている。

**表2 身長及び体重の年齢別平均値の30年前との比較**

性別	年齢(歳)	身長 (cm)			体重 (kg)		
		令和2年度	平成2年度	差	令和2年度	平成2年度	差
男子	5	111.1	110.9	0.2	19.0	19.2	-0.2
	6	117.2	116.8	0.4	21.9	21.4	0.5
	7	123.3	122.4	0.9	25.4	23.9	1.5
	8	128.4	128.1	0.3	28.9	27.1	1.8
	9	134.6	133.3	1.3	32.0	30.2	1.8
	10	139.9	138.5	1.4	35.9	33.8	2.1
	11	146.1	144.3	1.8	40.8	38.2	2.6
	12	152.8	151.5	1.3	45.0	43.4	1.6
	13	160.6	158.8	1.8	51.2	49.2	2.0
	14	165.8	164.2	1.6	56.2	54.5	1.7
	15	168.7	168.2	0.5	59.9	58.9	1.0
	16	169.6	169.5	0.1	61.2	60.9	0.3
	17	170.2	170.5	-0.3	64.4	62.4	2.0
女子	5	110.8	109.8	1.0	19.1	18.9	0.2
	6	116.4	116.0	0.4	21.2	21.1	0.1
	7	122.6	121.7	0.9	24.4	23.5	0.9
	8	128.0	127.3	0.7	27.0	26.5	0.5
	9	134.4	133.1	1.3	31.2	29.6	1.6
	10	141.0	139.3	1.7	35.0	34.0	1.0
	11	146.9	146.4	0.5	39.5	38.8	0.7
	12	151.7	151.8	-0.1	44.1	43.9	0.2
	13	154.8	154.5	0.3	48.2	47.2	1.0
	14	156.7	156.5	0.2	50.5	50.2	0.3
	15	156.4	157.4	-1.0	50.9	53.0	-2.1
	16	157.4	157.6	-0.2	51.8	53.0	-1.2
	17	157.7	158.1	-0.4	51.9	54.1	-2.2

(注) 着色部分は、30年前と比較し、最も大きく上回った年齢区分を表す。

### (3) 身長及び体重の年齢間比較

本年度の身長及び体重の数値を年齢間で比較すると、表3のとおりである。

男子では12～13歳の身長差7.8cm、12～13歳の体重差6.2kgが最も大きくなっている。

女子では9～10歳の身長差6.6cm、11～12歳の体重差4.6kgが最も大きくなっている。

**表3 身長及び体重の年齢間比較(令和2年度)**

性別	年齢(歳)	身長(cm)	体重(kg)
男子	5～6	6.1	2.9
	6～7	6.1	3.5
	7～8	5.1	3.5
	8～9	6.2	3.1
	9～10	5.3	3.9
	10～11	6.2	4.9
	11～12	6.7	4.2
	12～13	7.8	6.2
	13～14	5.2	5.0
	14～15	2.9	3.7
	15～16	0.9	1.3
	16～17	0.6	3.2
女子	5～6	5.6	2.1
	6～7	6.2	3.2
	7～8	5.4	2.6
	8～9	6.4	4.2
	9～10	6.6	3.8
	10～11	5.9	4.5
	11～12	4.8	4.6
	12～13	3.1	4.1
	13～14	1.9	2.3
	14～15	-0.3	0.4
	15～16	1.0	0.9
	16～17	0.3	0.1

(参考) 平成2年度における年齢間比較

性別	年齢(歳)	身長(cm)	体重(kg)
男子	5～6	5.9	2.2
	6～7	5.6	2.5
	7～8	5.7	3.2
	8～9	5.2	3.1
	9～10	5.2	3.6
	10～11	5.8	4.4
	11～12	7.2	5.2
	12～13	7.3	5.8
	13～14	5.4	5.3
	14～15	4.0	4.4
	15～16	1.3	2.0
	16～17	1.0	1.5
女子	5～6	6.2	2.2
	6～7	5.7	2.4
	7～8	5.6	3.0
	8～9	5.8	3.1
	9～10	6.2	4.4
	10～11	7.1	4.8
	11～12	5.4	5.1
	12～13	2.7	3.3
	13～14	2.0	3.0
	14～15	0.9	2.8
	15～16	0.2	0.0
	16～17	0.5	1.1

(注) 着色部分は、年齢間での差が最も大きかった箇所を表す



図2 令和2年度県平均値と平成2年度(30年前)県平均値の比較

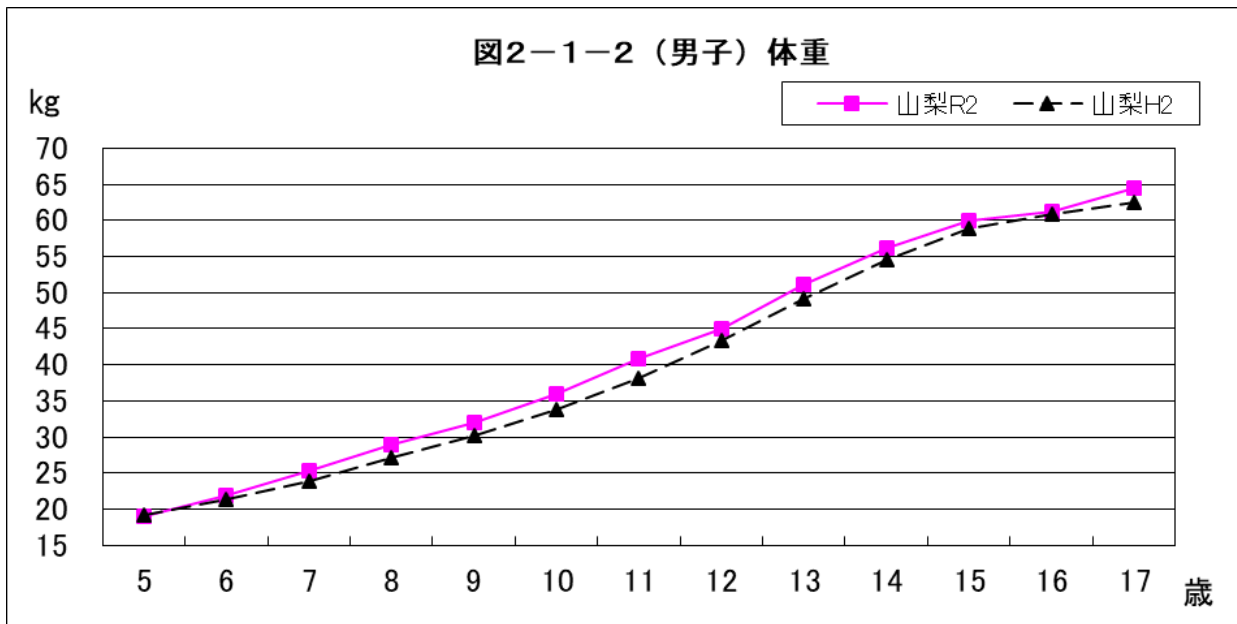
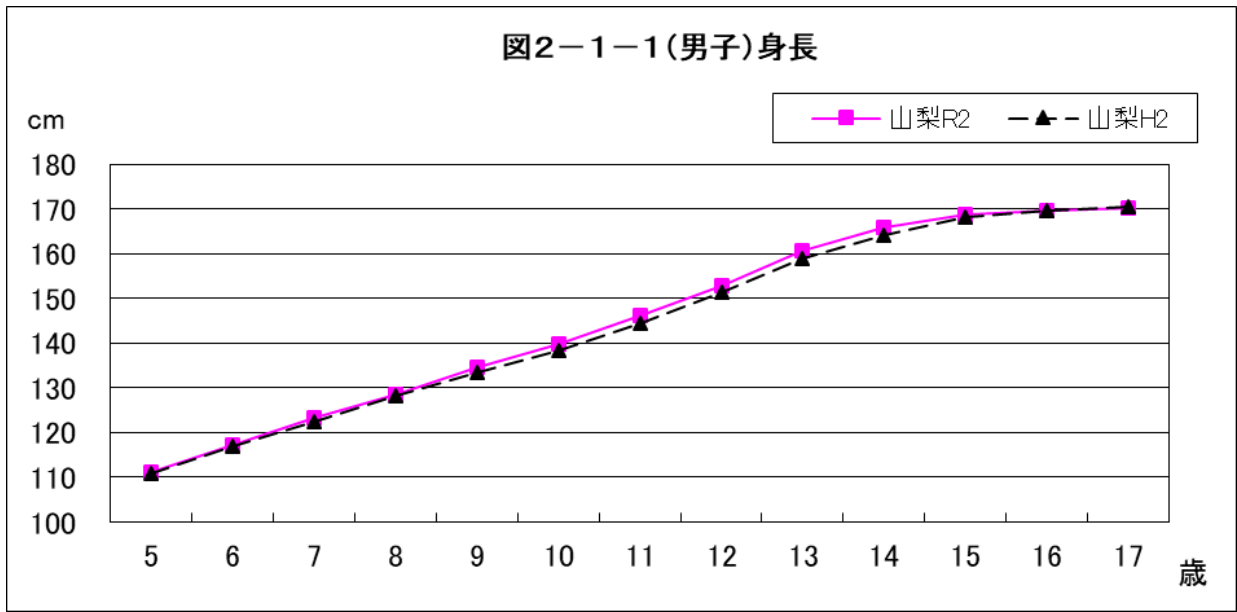


図2-2-1(女子)身長

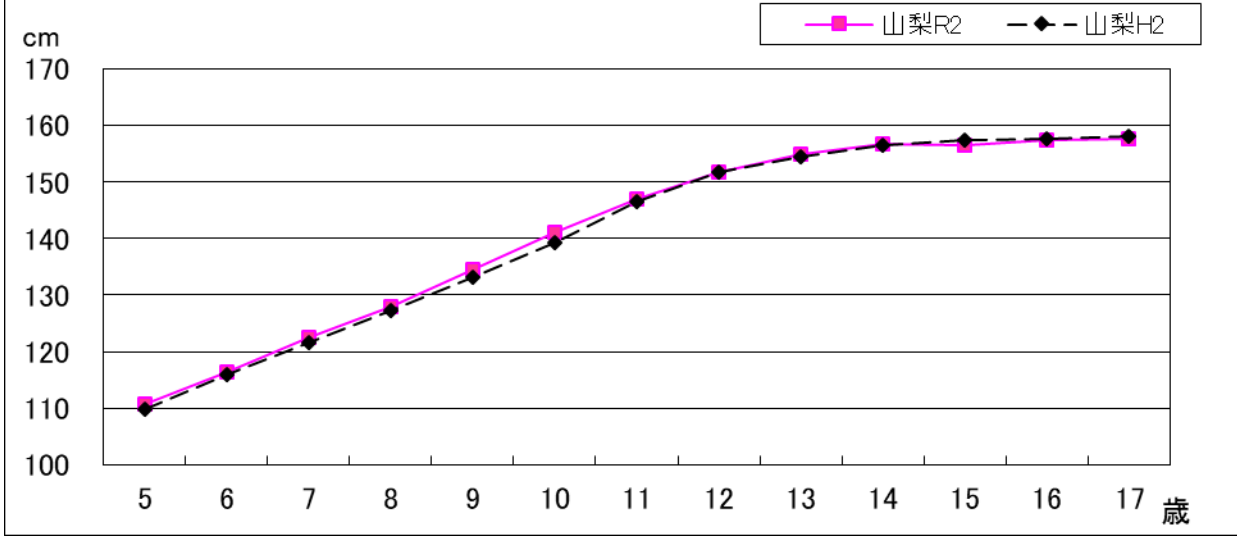
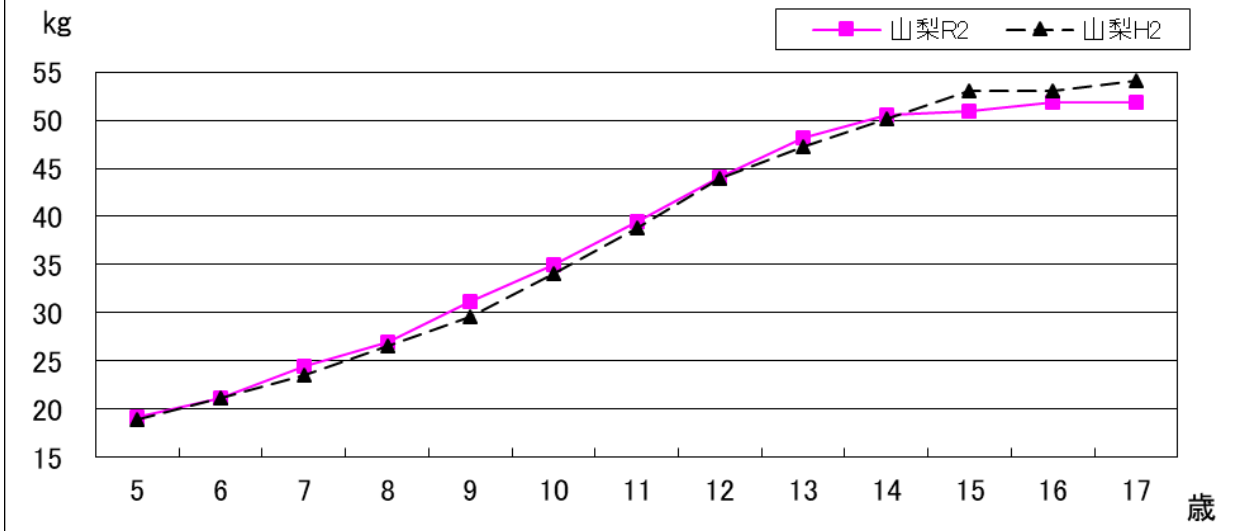


図2-2-2(女子)体重



#### (4) 県平均値と全国平均値との比較

本年度の県平均値と全国平均値の比較は表4のとおりである。

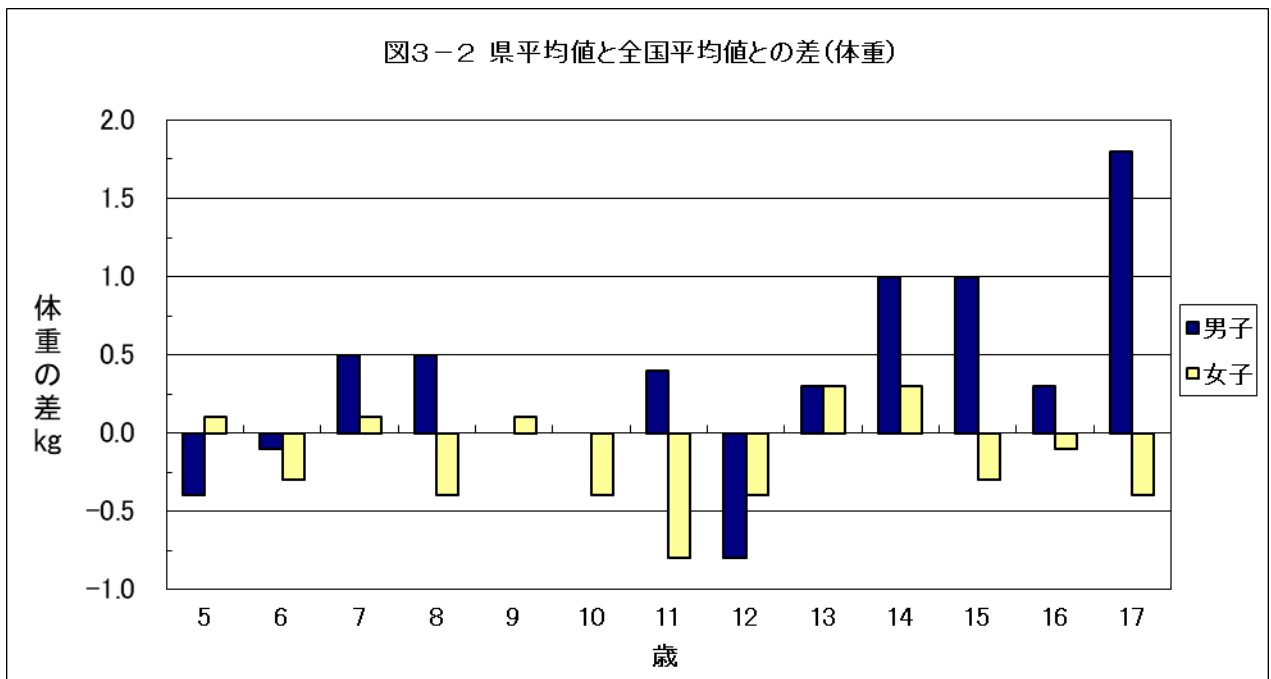
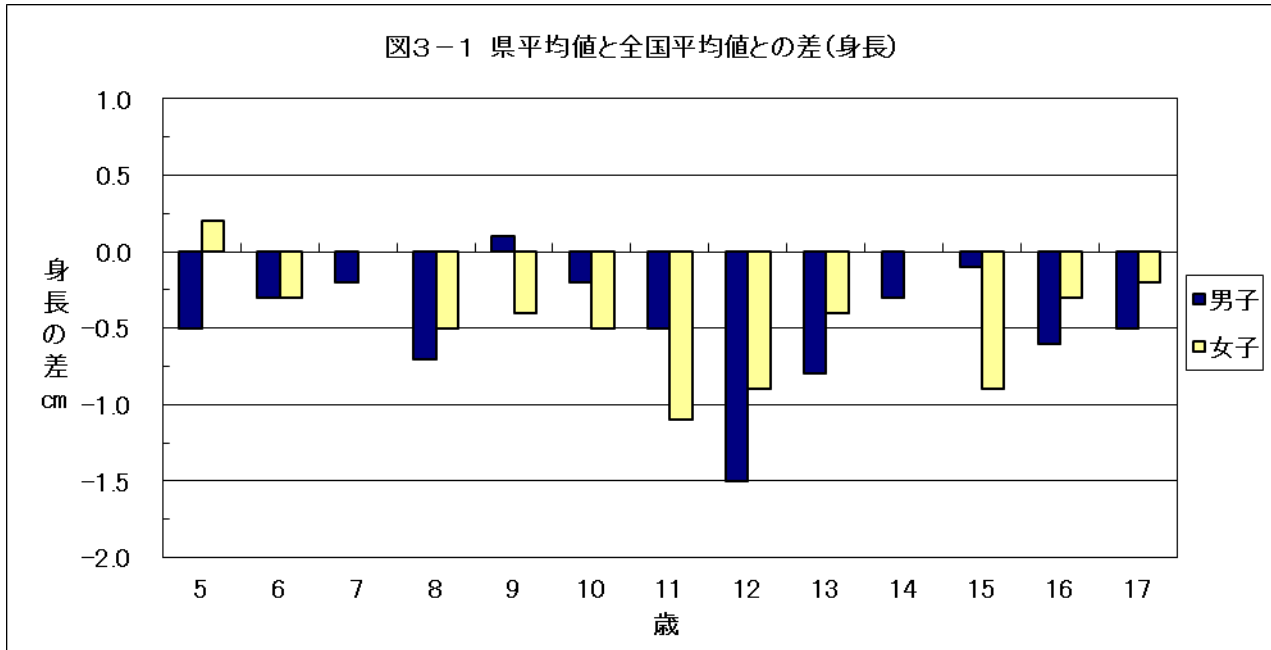
- ・全国平均値との差は、各年齢区分で男子では身長が-1.5～0.1 cm以内、体重が-0.8～1.8 kg以内となり、女子では身長が-1.1～0.2 cm以内、体重が-0.8～0.3 kg以内となっている。(図3)
- ・全国平均値と比較し、13の年齢区分中、男子では身長が1区分、体重が8区分、女子では身長が1区分、体重が5区分において全国を上回っている。

表4 身長及び体重の全国平均値との比較

性別	年齢 (歳)	身長 (cm)				体重 (kg)			
		山梨	全国	差	全国順位	山梨	全国	差	全国順位
男子	5	111.1	111.6	-0.5	30	19.0	19.4	-0.4	42
	6	117.2	117.5	-0.3	25	21.9	22.0	-0.1	20
	7	123.3	123.5	-0.2	22	25.4	24.9	0.5	7
	8	128.4	129.1	-0.7	30	28.9	28.4	0.5	8
	9	134.6	134.5	0.1	17	32.0	32.0	0.0	22
	10	139.9	140.1	-0.2	18	35.9	35.9	0.0	20
	11	146.1	146.6	-0.5	26	40.8	40.4	0.4	14
	12	152.8	154.3	-1.5	41	45.0	45.8	-0.8	31
	13	160.6	161.4	-0.8	29	51.2	50.9	0.3	17
	14	165.8	166.1	-0.3	22	56.2	55.2	1.0	6
	15	168.7	168.8	-0.1	21	59.9	58.9	1.0	10
	16	169.6	170.2	-0.6	36	61.2	60.9	0.3	22
	17	170.2	170.7	-0.5	31	64.4	62.6	1.8	3
女子	5	110.8	110.6	0.2	14	19.1	19.0	0.1	12
	6	116.4	116.7	-0.3	21	21.2	21.5	-0.3	31
	7	122.6	122.6	0.0	15	24.4	24.3	0.1	14
	8	128.0	128.5	-0.5	26	27.0	27.4	-0.4	34
	9	134.4	134.8	-0.4	25	31.2	31.1	0.1	16
	10	141.0	141.5	-0.5	28	35.0	35.4	-0.4	27
	11	146.9	148.0	-1.1	41	39.5	40.3	-0.8	38
	12	151.7	152.6	-0.9	37	44.1	44.5	-0.4	32
	13	154.8	155.2	-0.4	27	48.2	47.9	0.3	15
	14	156.7	156.7	0.0	19	50.5	50.2	0.3	17
	15	156.4	157.3	-0.9	42	50.9	51.2	-0.3	37
	16	157.4	157.7	-0.3	26	51.8	51.9	-0.1	34
	17	157.7	157.9	-0.2	21	51.9	52.3	-0.4	35

- (注) 1. 着色部分は、山梨県の値が全国平均値を上回ることを表す。  
2. 太枠部分は、全国順位上位10位以内の値であることを表す。

図3 県平均値と全国平均値との差



## 2 健康状態

### (1) 疾病・異常の被患率別状況

幼稚園, 小学校, 中学校及び高等学校ごとに、主な疾病・異常を被患率別に見ると次のとおりである。(表5)

表5 主な疾病・異常の被患率

区分 (単位: %)			幼稚園	小学校	中学校	高等学校
以上		未満				
70	～	80				
60	～	70				
50	～	60			裸眼視力1.0未満	
40	～	50		むし歯(う歯)		むし歯(う歯)
30	～	40	むし歯(う歯)	裸眼視力1.0未満	むし歯(う歯)	
20	～	30				
10	～	20		鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	心電図異常
8	～	10		歯・口腔その他の疾病・異常		
6	～	8		眼の疾病・異常	眼の疾病・異常 歯列・咬合	歯肉の状態
4	～	6	歯列・咬合	耳疾患 歯列・咬合 心電図異常 その他の疾病・異常	耳疾患 歯垢の状態 心電図異常 蛋白検出の者 その他の疾病・異常	鼻・副鼻腔疾患 歯垢の状態 その他の疾病・異常
2	～	4	歯・口腔その他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎	歯垢の状態 歯肉の状態 栄養状態 アトピー性皮膚炎 ぜん息	歯肉の状態 歯・口腔その他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎 ぜん息	眼の疾病・異常 歯列・咬合
1	～	2	ぜん息 その他の皮膚疾患 その他の疾病・異常	その他の皮膚疾患 蛋白検出の者		耳疾患 アトピー性皮膚炎 心臓の疾病・異常 ぜん息
0.5	～	1	眼の疾病・異常 歯垢の状態 言語障害 蛋白検出の者	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 せき柱・胸郭・四肢の状態 心臓の疾病・異常 言語障害	栄養状態	口腔咽喉頭疾患・異常 歯・口腔その他の疾病・異常 せき柱・胸郭・四肢の状態 蛋白検出の者
0.1	～	0.5	耳疾患 鼻・副鼻腔疾患 顎関節 歯肉の状態 栄養状態 せき柱・胸郭・四肢の状態 心臓の疾病・異常	顎関節 尿糖検出の者 腎臓疾患	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 せき柱・胸郭・四肢の状態 その他の皮膚疾患 結核の精密検査の対象者 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患 言語障害	難聴 顎関節 栄養状態 その他の皮膚疾患 尿糖検出の者 腎臓疾患

- (注) 1. 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、喉頭炎、へんとう炎、音声言語異常のあるもの等を指す
2. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定されたもの。
3. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定されたもの。

(2) 主な疾病・異常の推移

- ・裸眼視力 1.0 未満の者の割合では、小学校・中学校のいずれも全国平均値を下回っている。(表7)
- ・眼の疾病・異常の者の割合では、全国平均値と比較し、小学校において 1.5 ポイント上回り 6.3%、中学校において 2.3 ポイント上回り 7.0%、高等学校において 0.1 ポイント上回り 3.7%となっている。(表8)
- ・鼻・副鼻腔疾患の者の割合では、全国平均値と比較し、小学校において 0.8 ポイント上回り 11.8%、中学校において 2.7 ポイント上回り 12.9%となっている。(表9)
- ・むし歯の者の割合では、全区分において、全国平均値から3ポイント以上上回っている。(表10-1)
- ・アトピー性皮膚炎の者の割合では幼稚園において全国平均値と比較し、1.0 ポイント上回り、2.9%となっている。(表11)

表6 主な疾病・異常の割合の推移

単位：%

区分	年度	裸眼視力 1.0未満		眼の疾病・ 異常		耳疾患		鼻・副鼻腔 疾患		口腔咽喉 頭疾患・ 異常		むし歯 (う歯)		歯列・咬合		栄養状態		せき柱・ 胸部・四肢 の状態		アトピー性 皮膚炎		心臓の 疾病・異常		蛋白検出		ぜん息	
		全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨
幼稚園	H28	27.9	X	1.9	1.5	2.8	1.7	3.6	2.3	1.1	2.3	35.6	39.1	3.6	4.1	0.2	0.1	0.3	0.3	2.4	2.2	0.4	1.0	0.7	0.4	2.3	1.1
	29	24.5	X	1.6	0.1	2.3	0.3	2.9	2.1	1.3	3.4	35.5	36.5	3.5	4.8	0.3	0.1	0.2	—	2.1	2.9	0.4	0.7	1.0	0.8	1.8	1.5
	30	26.7	X	1.6	4.5	2.3	4.6	2.9	7.0	1.5	4.3	35.1	38.3	3.8	5.2	0.2	0.9	0.2	0.1	2.0	2.4	0.3	0.3	1.0	0.5	1.6	3.1
	R1	26.1	X	1.9	—	2.6	2.1	3.2	1.5	1.5	3.5	31.2	35.2	4.3	4.7	0.2	0.2	0.2	0.2	2.3	2.6	0.4	2.6	1.0	0.1	1.8	4.1
	2	27.9	X	1.4	0.8	2.0	0.1	2.4	0.3	1.0	—	30.3	34.2	4.2	4.6	0.3	0.4	0.4	0.1	1.9	2.9	0.4	0.4	1.0	0.7	1.6	1.3
小学校	H28	31.5	33.1	5.4	10.0	6.1	6.0	12.9	13.4	1.4	0.7	48.9	56.2	4.8	4.6	1.5	2.0	1.8	1.8	3.2	3.0	0.7	0.4	0.8	1.1	3.7	3.1
	29	32.5	33.3	5.7	9.1	6.2	5.3	12.8	11.3	1.3	1.0	47.1	56.9	4.4	4.2	1.5	2.1	1.2	1.0	3.3	2.5	0.7	0.4	0.9	1.7	3.9	3.0
	30	34.1	33.7	5.7	8.2	6.5	6.6	13.0	13.4	1.3	0.9	45.3	54.5	4.7	6.1	1.6	1.8	1.1	0.7	3.4	2.8	0.8	0.5	0.8	2.7	3.5	3.3
	R1	34.6	33.7	5.6	7.3	6.3	6.4	11.8	17.3	1.3	1.0	44.8	54.4	5.0	5.5	1.5	2.1	1.1	0.9	3.3	2.7	0.8	0.5	1.0	3.6	3.4	2.6
	2	37.5	36.3	4.8	6.3	6.1	5.7	11.0	11.8	1.0	0.7	40.2	43.7	4.9	5.2	2.0	2.2	0.9	0.8	3.2	3.1	0.8	0.6	0.9	1.4	3.3	3.4
中学校	H28	54.6	55.9	5.1	7.5	4.5	3.3	11.5	9.5	0.7	0.4	37.5	43.1	5.4	5.4	1.0	0.8	3.4	1.7	2.7	2.5	0.8	0.5	2.6	4.5	2.9	3.0
	29	56.3	55.6	5.7	8.0	4.5	4.1	11.3	10.7	0.6	0.4	37.3	43.9	4.8	4.4	1.0	1.5	2.4	0.7	2.7	2.8	0.8	0.4	3.2	5.5	2.7	3.1
	30	56.0	52.3	4.9	4.8	4.7	4.7	11.0	17.0	0.8	0.8	35.4	39.5	5.1	3.5	1.2	0.7	2.4	2.2	2.9	3.3	1.0	0.6	2.9	4.7	2.7	2.4
	R1	57.5	53.5	5.4	7.7	4.7	3.9	12.1	15.7	0.7	0.3	34.0	42.9	5.4	8.5	1.0	1.2	2.1	1.1	2.9	2.9	0.9	0.7	3.4	9.8	2.6	1.8
	2	58.3	54.0	4.7	7.0	5.0	4.8	10.2	12.9	0.5	0.4	32.2	36.6	5.2	7.2	1.1	0.8	1.7	0.3	2.9	2.7	1.0	0.2	3.3	5.4	2.6	2.1
高等学校	H28	66.0	X	3.4	6.8	2.3	2.2	9.4	16.3	0.4	0.7	49.2	52.1	4.4	3.0	0.7	0.9	2.5	1.8	2.3	1.9	0.7	0.4	3.3	1.1	1.9	1.0
	29	62.3	76.5	3.5	6.7	2.6	1.7	8.6	15.1	0.5	0.5	47.3	52.5	4.4	4.8	0.7	0.2	1.5	0.6	2.3	1.3	0.7	0.3	3.5	1.0	1.9	0.8
	30	67.2	X	3.9	5.6	2.5	2.6	9.9	13.1	0.3	0.6	45.4	47.2	4.4	2.9	0.9	0.7	1.4	0.9	2.6	1.7	0.9	0.3	2.9	1.0	1.8	0.7
	R1	67.6	X	3.7	5.7	2.9	1.4	9.9	10.4	0.5	0.3	43.7	47.6	4.5	3.9	0.6	0.8	1.7	0.9	2.4	2.1	0.9	1.1	3.4	1.4	1.8	1.1
	2	63.2	X	3.6	3.7	2.5	1.8	6.9	4.6	0.3	0.6	41.7	44.9	4.4	2.2	0.6	0.4	1.2	0.5	2.4	1.9	0.9	1.7	3.2	0.8	1.8	1.2

- (注) 1. 「 — 」は、該当者がいないもの  
 2. 「 0.0 」は、計数が表示単位未満のもの  
 3. 「 … 」は、調査対象となっていないもの  
 4. 「 X 」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下または疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しないもの

表7 裸眼視力1.0未満の者の割合の推移

単位：%

区分		小学校				中学校				高等学校			
		計	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満	計	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満	計	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満
平成 28年度	全国	31.5	11.2	11.7	8.6	54.6	11.5	16.4	26.7	66.0	11.8	16.6	37.6
	山梨	33.1	11.8	11.9	9.4	55.9	10.3	19.2	26.3	X	X	X	X
平成 29年度	全国	32.5	11.5	12.3	8.7	56.3	11.5	18.4	26.5	62.3	11.8	16.6	33.9
	山梨	33.3	11.9	11.8	9.6	55.6	9.3	15.5	30.8	76.5	7.8	17.3	51.4
平成 30年度	全国	34.1	12.0	12.8	9.3	56.0	11.3	19.2	25.5	67.2	11.3	16.6	39.3
	山梨	33.7	11.9	12.1	9.7	52.3	12.3	16.5	23.5	X	X	X	X
令和 元年度	全国	34.6	12.0	13.2	9.4	57.5	12.7	17.7	27.1	67.6	11.3	17.4	39.0
	山梨	33.7	11.4	12.8	9.5	53.5	11.2	18.5	23.8	X	X	X	X
令和 2年度	全国	37.5	12.7	13.9	10.9	58.3	13.5	19.4	25.3	63.2	13.5	18.1	31.5
	山梨	36.3	11.9	13.4	11.0	54.0	10.0	16.9	27.1	X	X	X	X

(注)「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しないもの計欄の数値と内容の合計の数値とは、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

表8 眼の疾病・異常の者の割合の推移

単位：%

年度	眼の疾病・異常							
	幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国
H22	4.9	2.2	8.2	4.8	6.6	4.7	4.4	3.4
27	—	2.0	8.8	5.6	6.6	4.9	6.4	3.8
28	1.5	1.9	10.0	5.4	7.5	5.1	6.8	3.4
29	0.1	1.6	9.1	5.7	8.0	5.7	6.7	3.5
30	4.5	1.6	8.2	5.7	4.8	4.9	5.6	3.9
R1	—	1.9	7.3	5.6	7.7	5.4	5.7	3.7
R2	0.8	1.4	6.3	4.8	7.0	4.7	3.7	3.6

注) 1 着色部分は、山梨県の値が全国平均値を上回ることを表す。

2「—」は 該当者がいないもの。

3「眼の疾病・異常」は、トラコーマ、流行性結膜炎、伝染性結膜炎等やその他「伝染性」

又は「感染症」と明記された疾患、若しくは伝染性眼疾患以外の眼疾患・異常(疑似トラコーマ、

麦粒腫(ものもらい)、眼炎、斜視、片眼失明、アレルギー性結膜炎)。また、視力低下の原因が明

らかな眼疾患・異常(網膜変性、緑内障等)も含む。

表9 鼻・副鼻腔疾患の者の割合の推移

単位：％

年度	鼻・副鼻腔疾患							
	幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国
H22	1.7	3.5	11.1	11.7	11.0	10.7	12.2	8.5
27	0.4	3.6	12.6	11.9	11.9	10.6	13.3	7.3
28	2.3	3.6	13.4	12.9	9.5	11.5	16.3	9.4
29	2.1	2.9	11.3	12.8	10.7	11.3	15.1	8.6
30	7.0	2.9	13.4	13.0	17.0	11.0	13.1	9.9
R1	1.5	3.2	17.3	11.8	15.7	12.1	10.4	9.9
R2	0.3	2.4	11.8	11.0	12.9	10.2	4.6	6.9

- 注) 1 着色部分は、山梨県の値が全国平均値を上回ることを表す。  
 2 「鼻・副鼻腔疾患」は、慢性副鼻腔炎(蓄膿症)、慢性的症状の鼻炎(乾燥性前鼻炎等)、鼻ポリープ、アレルギー性鼻炎(花粉症等)等の疾患・異常を含む。

表10-1 むし歯(う歯)の者の割合の推移

単位：％

年度	むし歯(う歯)							
	幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国
H22	58.1	46.1	69.5	59.6	61.0	50.6	59.5	60.0
27	45.2	36.2	58.6	50.8	51.2	40.5	52.3	52.5
28	39.1	35.6	56.2	48.9	43.1	37.5	52.1	49.2
29	36.5	35.5	56.9	47.1	43.9	37.3	52.5	47.3
30	38.3	35.1	54.5	45.3	39.5	35.4	47.2	45.4
R1	35.2	31.2	54.4	44.8	42.9	34.0	47.6	43.7
R2	34.2	30.3	43.7	40.2	36.6	32.2	44.9	41.7

- 注) 1 着色部分は、山梨県の値が全国平均値を上回ることを表す。  
 2 う歯(むし歯)は、乳歯又は永久歯がむし歯のものを含む。ただし、要観察歯(CO)は含まない。



表10-2 むし歯（う歯）の処置完了状況等の推移

単位：%

区分		幼稚園			小学校			中学校			高等学校		
		計	処置完了	未処置	計	処置完了	未処置	計	処置完了	未処置	計	処置完了	未処置
平成28年度	全国	35.6	14.5	21.1	48.9	24.7	24.2	37.5	21.0	16.5	49.2	28.4	20.8
	山梨	39.1	15.8	23.3	56.2	29.9	26.3	43.1	23.7	19.4	52.1	29.8	22.4
平成29年度	全国	35.5	13.9	21.6	47.1	24.1	23.0	37.3	21.1	16.2	47.3	27.6	19.7
	山梨	36.5	18.4	18.1	56.9	32.3	24.6	43.9	23.6	20.2	52.5	31.6	20.9
平成30年度	全国	35.1	13.6	21.5	45.3	23.1	22.2	35.4	20.4	15.0	45.4	27.1	18.3
	山梨	38.3	15.0	23.2	54.5	28.6	25.8	39.5	20.1	19.4	47.2	30.3	16.9
令和元年度	全国	31.2	12.0	19.2	44.8	23.1	21.7	34.0	19.8	14.2	43.7	26.4	17.3
	山梨	35.2	16.8	18.4	54.4	27.8	26.6	42.9	24.4	18.5	47.6	28.0	19.6
令和2年度	全国	30.3	12.7	17.7	40.2	20.6	19.6	32.2	18.8	13.4	41.7	25.0	16.6
	山梨	34.2	17.6	16.6	43.7	23.4	20.3	36.6	20.0	16.6	44.9	29.5	15.4

(注) 計欄の数値と内容の合計の数値とは、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

表10-3 12歳の永久歯の1人当たり平均むし歯（う歯）等数の推移

単位：本

区分		計	喪失歯数	むし歯（う歯）		
				計	処置歯	未処置歯
平成28年度	全国	0.8	0.0	0.8	0.5	0.3
	山梨	1.1	0.0	1.1	0.7	0.4
平成29年度	全国	0.8	0.0	0.8	0.5	0.3
	山梨	1.1	0.0	1.1	0.6	0.4
平成30年度	全国	0.7	0.0	0.7	0.5	0.3
	山梨	0.9	0.0	0.9	0.5	0.4
令和元年度	全国	0.7	0.0	0.7	0.5	0.2
	山梨	1.2	0.0	1.2	0.8	0.3
令和2年度	全国	0.7	0.0	0.7	0.4	0.3
	山梨	0.8	0.0	0.8	0.5	0.3

(注) 計欄の数値と内容の合計の数値とは、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

表11 アトピー性皮膚炎の者の割合の推移

単位：%

年度	アトピー性皮膚炎							
	幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国	山梨	全国
H22	4.3	3.3	3.2	3.4	2.7	2.6	1.8	2.2
27	3.0	2.5	2.4	3.5	3.3	2.7	1.5	2.1
28	2.2	2.4	3.0	3.2	2.5	2.7	1.9	2.3
29	2.9	2.1	2.5	3.3	2.8	2.7	1.3	2.3
30	2.4	2.0	2.8	3.4	3.3	2.9	1.7	2.6
R1	2.6	2.3	2.7	3.3	2.9	2.9	2.1	2.4
R2	2.9	1.9	3.1	3.2	2.7	2.9	1.9	2.4

注) 1 着色部分は、山梨県の値が全国平均値を上回ることを表す。

2 アトピー性皮膚炎とは、眼瞼皮膚炎等

### 3 肥満傾向児及び痩身傾向児の割合

本年度の山梨県、全国及び全国順位は次の表12のとおりである。

#### ○肥満傾向児の割合

- ・男子では8歳で18.37%と最も高く、13の年齢区分中、11区分において全国を上回っている。  
また、8歳の18.37%が、その年齢区分で、全国で最も高くなっている。
- ・女子では11歳で11.28%と最も高く、13の年齢区分中、10区分において全国を上回っている。

#### ○痩身傾向児の割合

- ・男子では5歳で5.83%と最も高く、13の年齢区分中、4区分において全国を上回っている。  
また、5歳の5.83%と10歳の4.50%が、それぞれの年齢区分で、全国で最も高くなっている。
- ・女子では5歳で5.90%と最も高く、13の年齢区分中、6区分において全国を上回っている。  
また、5歳の5.90%が、その年齢区分で、全国で最も高くなっている。

表12 年齢別 肥満傾向児及び痩身傾向児の割合

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}) / \text{身長別標準体重 (kg)} \times 100 (\%)$$

区分	肥満傾向児(肥満度20%以上)の割合 (%)						痩身傾向児(肥満度-20%以下)の割合 (%)					
	男子			女子			男子			女子		
	山梨	全国	全国順位	山梨	全国	全国順位	山梨	全国	全国順位	山梨	全国	全国順位
幼稚園												
5歳	3.67	3.65	16	3.78	3.37	18	5.83	0.50	1	5.90	0.38	1
小学校												
6歳	5.60	5.85	24	5.32	5.16	19	0.50	0.42	20	-	0.63	-
7歳	13.82	8.77	3	9.28	7.25	6	0.17	0.62	43	0.35	0.65	35
8歳	18.37	11.67	1	8.80	8.89	28	-	0.97	-	1.44	1.09	13
9歳	11.90	13.58	35	10.85	9.32	14	1.41	1.83	25	2.69	2.35	14
10歳	14.45	14.24	22	8.37	9.47	37	4.50	2.76	1	3.78	2.76	6
11歳	16.82	13.31	9	11.28	9.36	14	3.10	3.45	20	2.16	2.87	29
中学校												
12歳	13.64	12.71	20	10.24	8.89	16	2.23	3.65	40	4.47	4.37	16
13歳	14.94	12.18	5	10.83	8.53	10	2.51	2.99	20	2.53	3.20	29
14歳	13.14	10.94	11	8.99	8.29	20	2.77	3.24	25	2.33	2.79	33
高等学校												
15歳	14.75	12.07	13	9.19	7.30	10	7.82	4.24	2	3.30	3.13	14
16歳	11.79	11.54	23	7.48	6.59	18	2.12	4.07	44	2.51	3.24	23
17歳	15.94	12.48	4	6.28	7.63	38	1.58	3.57	44	1.89	2.82	30

- (注) 1 着色部分(山梨県の値が全国平均値を上回る学年)  
 2 太枠部分(全国順位上位10位以内)  
 3 「-」(該当者なし)

図4 肥満傾向児の割合の全国との比較

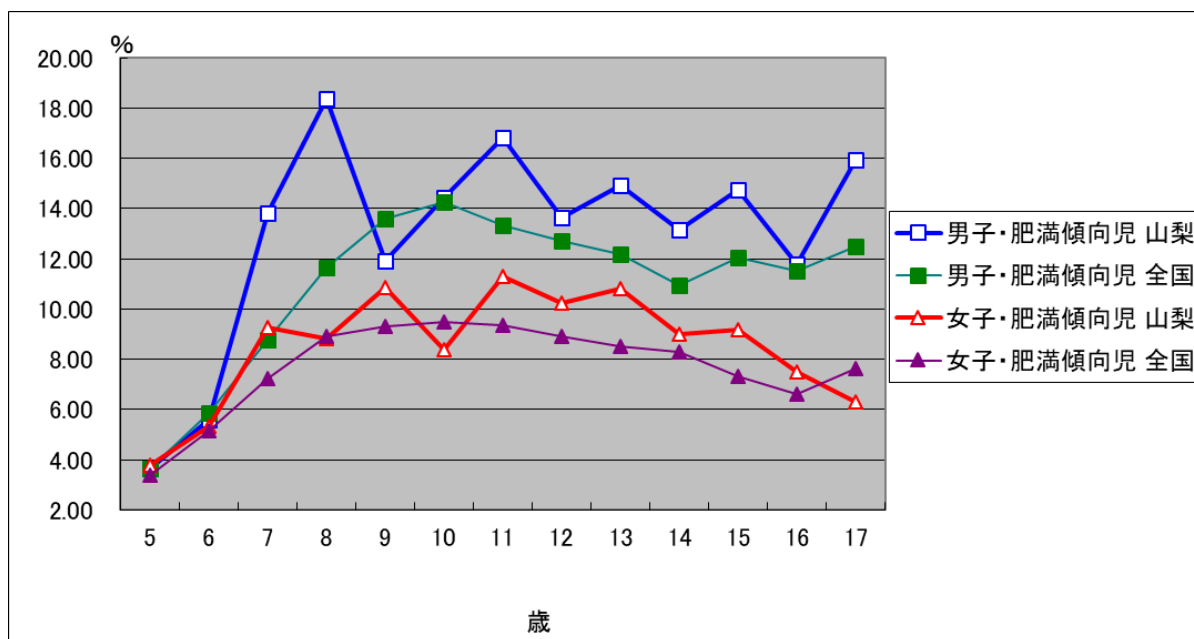


図5 痩身傾向児の割合の全国との比較

